

## — K A T Eブランドの強味・弱味の仮設

### ♥強味

- ♥店頭カバー率が高く、“セルフでメイク”と思える店のほとんどで目にすることができる。
- ♥カワイイ・デコ系ブランドが台頭する中、カッコイイ路線を貫いており、シーズン毎に展開されるブランドイメージが踏襲されている。
- ♥商品的には使いやすく価格も手頃で質実剛健。  
商品的には消費者の期待を裏切らない信頼感がある。  
配色の組合せも、ぜったい失敗しない無難な色合わせでアイカラーまわりにファンが多い。

### ◆弱味

- ◆ケイトに限らずセルフメイク全般に言えることだが、商品やテスターの保守・補完状況が購買意欲にハネる。  
“あまりよい状態ではない”という印象があるブランド。
- ◆キービジュアルとして展開されるブランドイメージが前衛的なのに対し、商品が「ふつう」のためイメージのギャップがぬぐえず、双方のイメージがブランドイメージとして共存している。
- ◆外出時の持ち歩き用には使いたくない貧相くささがある。  
持っていても「それどこの？」と聞かれることはなく、使っているところを見られたくないという位置づけ。